花だより　No.24
2016年　秋号

さいわい花だより

さいわい福祉センター　　所長　　水谷　貞子

連日、事故や虐待などの痛ましい報道が続いています。なぜ命が大切かを説明することは簡単ではないかもしれませんが、誰もが幸せに生きたいと望み、笑顔で過ごしたいと思うのではないでしょうか。その思いは、ひとり一人尺度が違っていても、誰かの尺度を押し付けることはできません。ましてや「奪う」ことなど許されない蛮行です。津久井の事件が風化しないように、本紙2面の笑顔がこれからも沢山見られるように、防犯と開かれた施設のバランスを考えて事業運営にあたりたいと思います。

10月に視覚障害等の方の日常生活用具や情報伝達機器の展示会を、当センターホールで開催しました。発端は、同行援護（視覚障害移動支援）を利用されている方から、「近くで実際に触れてみたい」との声があり、開催の運びになりました。当日は、当事者の方だけでなく近隣市の高齢の事業所の方や教員の方など、多くの方にご来場いただきました。また、アンケート結果から、企業の方から具体的な説明などもあり喜んでいただけた感想や今後の期待もお聞かせいただきました。

障害理解や差別の解消は、一つ一つの行動の積み重ね（実践）の中で深まり醸成していくものと思います。今回のような企画がより多くの方々に発信できるように、利用者の方のご協力を頂きながら協同を大切にして、今後も取り組んでいきたいと思います。

発　行：東久留米市立
さいわい福祉センター
責任者：水谷　貞子

〒203-0052　東京都東久留米市幸町3－9－28
TEL　042－477-2711
FAX　042－477-2750

えがお　輝く毎日

旅行に行ってきました！

◎ピッコロ・ハープグループ(就労移行支援事業・地域活動支援センター事業)

10月6日・7日と川崎、横浜へ出かけました。お世話になる施設への挨拶や、学習した事を振り返る時間があったり、楽しむ事と学習する事を兼ね備えた旅行でした。

1日目は川崎で味の素ＫＫ工場の見学をしました。工場でどのようなお仕事をしているのか見学させて頂きました。見学が終わった後は、調理実習を行いました。

慣れないながらも一生懸命に調理をしました。自分で作った物はやはり美味しいですね。皆さんいい笑顔です。

2日目は横浜の東急百貨店で女性のご利用者は就活メイクの学習をしました。実際に就活メイクをしてもらい、どのようなメイクが好印象であるか、コツなどを教えて頂きました。お二人の感想は「こんなに変わるんだ！自分じゃないみたいです！」と、とても嬉しそうでした。メイクをした嬉しさがより二人の表情を明るくしていました。

その間、男性のご利用者はショッピングを楽しみました。リュックや帽子、自分の好きなデザインや色を選び、購入しました。新しい物を身につけると嬉しい気持ちになりますね。

２つのグループで旅行に出かけたため、各々目的は違いましたが、普段経験できない事を経験でき、充実した旅行となりました。何より皆さんの楽しそうな笑顔を見る事ができ、嬉しく思います。

就労移行支援事業の利用者募集しています！！

対象者：主に知的障害のある18歳以上で、愛の手帳3度もしくは4度をお持ちの方で企業での就労が見込まれる方

訓練期間：2年間

事業内容：企業就労などを目指す障害のある方に対し、作業訓練や職場実習等を通じ、就労のための基礎的な体力や技術、および社会的マナーなどを習得する訓練事業です。

センターでの主な仕事内容は、マンション清掃や畑作業、ピッキングなどを行なっています。また、就労への意欲を図るため、毎年企業見学をしています。

◎ココナッツグループ(生活介護事業)

10 月 13・14 日の 2 日間で味の素スタジアム、島田療育センター、京王プラザホテルへ行きました。天候にも恵まれ、とても良いお天気となりました。

1 日目の味の素スタジアムでは普段見られないスタジアムの裏側を見たり、サッカー選手と同じ入場口からフィールドへ出たりしています。青々とした芝生を見てとても興奮しました！

2 日目に伺った島田療育センターは、日本で初めてスヌーズレン*を取り入れた施設です。ということで我々も体験をさせて頂きました！天井に様々なイラストを投影して眺めたり、ウォーターベッドで横になったり…いつもとは違う雰囲気を楽しめ、とてもリラックス出来ました。

食事は京王プラザホテル内にある中華料理屋でおいしい中華料理をいただきました。個室でゆったりと過ごすことができ、皆さん笑顔で召し上がっていました。

皆さんの溢れる笑顔を見て、次はどこへ行こうかと考えると今から旅行が楽しみです。

＊スヌーズレン･･･オランダ語で「くんくん匂いを嗅ぐ」、「ウトウトくつろぐ」という 2 つの単語を組み合わせた造語。障害のある方に匂い、光、音、振動など様々な感覚を楽しんで、リラックス空間を体験すること。

◎就労支援室さいわい　日帰り旅行

10/15（土）観光バスで静岡県の焼津さかなセンター、島田市ばらの丘公園、みかん狩りへ日帰り旅行に行きました！

参加者は企業で働かれている登録者 33 名の方。食事は豪華に海鮮類づくし！お寿司や海鮮親子丼に加えて甘海老食べ放題！「贅沢」。この 2 文字に尽きます。

食事のあとはバラの鑑賞。今年は曇りの日が多く、残念ながら満開のバラは拝めませんでしたが、この日は青空がとてもきれいで食後のウォーキングには最適でした！運動後に飲むバラサイダーはこれまた美味でした♪

次にみかん狩り食べ放題へ。極早生みかんという種類のみかんで、黄色く色づいたものは甘く、ペロッといくつでも食べられてしまいます。いくつ食べられるか競争するメンバーや、どの樹のみかんが美味しいか探しながら食べたりと各々楽しみながら食を堪能した旅となりました。

メンバーの方々には楽しかったことを思い出しながら、引き続きお仕事を頑張っていってほしいと願います。

日中一時支援事業
都型ショートステイ事業

現在、このふたつの事業は、市内在住の障害者手帳をお持ちの方が利用されています。主に、介護者やご家族の入院、冠婚葬祭など、障害のある方と一緒に出掛けられない場合やレスパイト（介護者の休養）やご兄弟の学校行事などで一時的に預かってほしい場合、その他必要と認められた場合などに利用して頂いております。

※ご利用については一定の条件や契約手続きが必要となります。一度、当センターへお問い合わせください。

今回は、この日中一時支援事業とショートステイ事業がどんなところで活動をしているか紹介したいと思います！！

◎日中一時支援事業（通称：コスモ）

さいわい福祉センター２階へ上がってすぐにこの部屋があります。（通称：コスモの部屋）
日中一時支援事業でお預かりする場合はこちらの部屋で過ごすことが多いです。
小さいお子さんに、このコスモの部屋は人気です！

部屋の右側の棚には電車のおもちゃ、ブロック、絵本、ぬいぐるみなど沢山あります。
キーボードのおもちゃが皆さん大好き！

ビデオやＤＶＤなど、介護人からの寄付もあり、種類が豊富です☆

◎都型ショートステイ事業

こちらがショートステイ室です。この部屋で食事や就寝しています。宿泊者が男女の場合は、どちらかが 2 階のコスモの部屋などに寝るようにし、別個に対応しております。

浴室です。浴槽は充分に足が伸ばせるくらいの広さです。
手すりや転倒の事故防止にマットなどを敷いております。

ショートステイでの食事

この日のメニューは…
ごはん、味噌汁、焼鮭、麻婆豆腐、生野菜サラダ、高野豆腐の煮物、デザートでした！

朝ご飯は宿直した職員が作ります。料理が得意ではなかった若手職員もおかげさまで上達します…♪

ショートステイでは夕食のみ、調理員がご利用者のアレルギーや好き嫌い、栄養バランスに気を付けながら提供しています。

長年、おいしい夕食を作り続けている小林調理員に質問してみました！

少しでも利用者の皆様に美味しいと感じて頂きたいと思いながら調理をしています♪

Ｑ１．センターの調理員になろうと思ったきっかけは？

Ａ．介護ヘルパー２級の資格をとり、ヘルパーとして仕事はしておりましたが、元々料理が好きだったのと、さいわい福祉センターの職員の方と知り合いだったので紹介をして頂き始めさせていただきました。

Ｑ2．さいわい福祉センターへ来て一番嬉しかったことは？

Ａ．一人の利用者の方が「いろいろカレーを食べているけど、センターの普通のカレーが一番好きです」と言ってくださったことです。

Ｑ３．センターへ来て驚いたことを上げて下さい。

Ａ．東日本大震災の時です。調理を始めようとしたとき突然の大きな揺れに恐怖で何も手につかずオロオロとしていると所長、職員の方々が利用者の方を守りながら少しでも早く保護者の元にお返ししようと一生懸命な姿に深く感動しました。私も頑張らなくてはと思いカレーを作り始めました。私の心の中では「さいわいカレー」と名付けております。

好きな花は「ダリア」花言葉は「感謝」

介護人について

日中一時支援（コスモ）でご利用者と一緒に過ごしてもらう方のことを『介護人』と呼んでいます。

主に子育てなどが一段落ついた方や大学で福祉を学んでいたり、福祉に興味がある学生さんなどが登録をしてお仕事をしてもらっています。現在は地域に住んでいる方が多く登録しています。

現在介護人としてセンターで働いているＡさん、Ｂさん、Ｃさんにお仕事についてお話しを聞きました。

Ｑ１	介護人を始めてどれくらいになりますか？
Ｑ２	始められたきっかけは？
Ｑ３	介護人の業務で面白いと思うことや、印象に残っている出来事などはございますか？
Ｑ４	反対に大変だと思うことは？
Ｑ５	アドバイス等何か一言お願いします。

Ａさん

Ａ１	約１２年位になると思います。
Ａ２	友達からの紹介です。
Ａ３	先日スーパーのレジで並んでいたら利用者さんとお母さんが並んでいて、話しかけるとお母さんが「さいわい大好きなんですよね」と懐かしそうに話しをしてくれ胸が熱くなりました。センター以外でも子ども達に会う機会が多く、名前を呼んでくれたりハイタッチをしてくれます。一人でいる子に「お母さんは？」と聞くと指で「向こう」と合図をしてくれ、ホッとします。楽しい時間を過ごしてほしいですね。
Ａ４	全部大変だと思います。私は特に食事、おやつの時間です。口いっぱいに食べ物を入れてしまう人などもいらっしゃるので、おやつのおせんべいを半分にして渡すなど気を付けています。
Ａ５	同じ介護人からのアドバイスも必要だと思います。また、その日その日で利用者さんの様子が違うので、自分自身で利用者さんと向き合って欲しいと思います。

Ｂさん

Ａ１	センターにお世話になって１０年目です。
Ａ２	バスに乗ったりしているときに車椅子にヘルパーさんがついていて、それを見て介護の仕事をしてみたくなりました。
Ａ３	介護人の名前をおぼえていてくれていることです。
Ａ４	小さい子を見るのが大変のときもありました。
Ａ５	介護人同士が仲良くしてみんなで協力し合うことです。

Ｃさん

Ａ１	２０年
Ａ２	職員に声を掛けられて。
Ａ３	小児、成人問わず利用者の方々がありのままを表現出来ている時。嬉しい表現も含め、安心して過ごしていらっしゃるのを感じる時。色んな方々にお目にかかれること。
Ａ４	大変だと思うことは個人的にはなく、いつも利用者の方々から生きる事、前向きな思いやエネルギーを頂いている。
Ａ５	利用者さんのその日のコンディション、心に寄り添って過ごすことが大事かと。病名や障害名は頭に入れておく事は大事ですがそれに囚われないことが大事。

センターでは介護人を募集しております！

内容	当センター内で障がいのある方と過ごして頂きます。
時間	ご利用者が預かってほしい依頼の時間に合わせて、介護人の都合のよい日・時間帯をお電話などで伺います。
資格	介護職員初任者研修を修了している方。 資格のない方でも、当センターで所定の研修を受けて頂くことで介護人として働くことが出来ます。

興味がある方、少し話しを聞いてみたい方など！　ぜひセンターにお問い合わせ下さい！

キンモクセイ

花言葉

「謙虚」

神奈川県相模原市の障害者施設の痛ましい事件から3か月が経ちました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。

私は入職3年目ですが、毎日ご利用者にはパワーを頂いてばかりです。特にそう感じられる瞬間は今回の宿泊旅行や日帰り旅行などセンターでの行事の時です。私たち職員はご利用者をお預かりし、何度も打合せを重ね、より安全・安心に行事を行えるか話し合います。そして無事に終えた時のご利用者の笑顔や「ありがとう」という言葉を聞けるだけで、「やって良かった！」とやりがいを感じることが出来ます。そしてこちらも「ありがとう」と言いたくなるような、くすぐったくも優しい気持ちになります。ご利用者の笑顔や言葉には不思議な力と元気にしてくれる栄養がいっぱい詰まっていると つくづく思う日々です。ご利用者が笑顔だとこちらも自然と笑顔になります。人は鏡ですね。

しかし人は鏡というのは、自分も見られているということです。暗いことや「疲れたなぁ…」などネガティブになっていると誰かの心にもネガティブが映し出されてしまっているのかもしれません。ご利用者のように、優しい気持ちを映し出せる鏡になりたいと思います。謙虚な姿勢で、日々精進してまいります。